

コース別管理制度における「一般職」に求められる能力

—採用時の能力試験に関する調査を中心に—

Human resources development for the general-duties grade workers in Japan

中村 仁* Jin NAKAMURA

1. 日本の雇用慣行：コース別管理制度と「一般職」コースの概要

1.1. 「一般職」という職種に関する定義

日本の雇用慣行では、企業内に複数のコースによる雇用管理が存在するケースが多く、これらは大別すると総合職と一般職に分類できる。能力開発というテーマの論稿では一般的には企業等における総合職に関するケースが多いと考えられるが、本稿では一般職の能力開発について、採用試験の内容という点から求められている能力を探り、またその実態について言及す

る。一般職を取り巻く環境は、現在大きく変化しているにも関わらずあまり解明されていない部分が多い。採用に関しても、総合職ほど他企業の動向に注意して実施していないケースも多いように見受けられる。しかし、一般職の重要性は、明らかであることも論を待たないが、共通の知識となっているわけでもない。改めて「一般職」に関する再定義が求められている。

1.2. 日本におけるコース別管理制度

かつて日本の企業社会においては、男性従業員を基幹要員とし女性従業員を補助要員とするような人事制度が事実上存在していたが、男女雇用機会均等法¹の施行によって採用・配置・昇進・退職などでの性差別が禁止された。しかし、職務配置やキャリア形成の違いによる複数の労働形態は企業のみならず従業員にも一定

のニーズがあることから、厚生労働省は指針²によって、「職種、資格、雇用形態、就業形態等の区分その他の労働者についての区分であって、当該区分に属している労働者について他の区分に属している労働者と異なる雇用管理を行うことを予定して設定しているもの」として雇用管理区分（コース別雇用管理）を認めてい

*東京大学大学院情報学環

キーワード：短期大学、一般職、人事制度、能力開発、雇用

る。そのため、企業等の組織において、コース別雇用管理制度を導入しているケースは多い。阿部正浩(2005)は一般的なコース別雇用管理制度について「総合職コースと一般職コースのように、職務配置やキャリア形成の違いによって複数のコースを持つのが一般的である。総合職コースでは基幹的業務を担う従業員のための雇用管理が行われ、より多くの教育・訓練が施され、昇格・昇進に頭打ちがない。一般職コースは補助的業務を担う従業員のための雇用管理が行われ、相対的に教育訓練は少なく、昇格・昇進にも頭打ちがある。」と説明している。

ここでいう一般職コースは、かつては「腰掛け」「お茶汲み」「寿退社」といった言葉に代表

1.3. 一般職コースの従業員として求められる人材

かつて一般職コースに属する従業員は、そのほとんどが女性であり、寿退社と呼ばれる結婚退職までの腰掛けとしての就職であるため、平均的に在職年数は短かった。そのため、職務が少ない教育訓練でも可能な内容に限定されることから「お茶汲み」・「コピー取り」と揶揄され、主に総合職コースの従業員のための補助的役割が期待されていた。これは、総合職に見られるサービス残業・休日出勤を代表例とした、減私奉公的な忠誠から解放されていた部分からも逆に読み取れる。また、ここに挙げられた単純業務を契約社員や派遣社員、パート・アルバイトといった非正規雇用の従業員に担当させるということも少なかったことから、これが企業のコストダウンとしての下限であった。しかし現在、雇用形態の多様化から、単純業務はいわゆる契約社員や派遣社員、パート・アルバイト

されるように、平均在職年数が短く、教育訓練も少なく、業務においては総合職コースの従業員のための補助的役割が期待されていた一方で、総合職に見られるサービス残業を代表例とした減私奉公的な義務から解放されていた。しかし現在は雇用の多様化から単純業務はいわゆる契約社員や派遣社員、アルバイト等非正規雇用に移行しつつあり、これまでの一般職コースの従業員に求められていた能力・資質は大きく変化している。

このような状況の中で、本稿は一般職コースに多く就職する短期大学の学生への採用試験受験状況のアンケート調査を通じて、一般職コースで採用する従業員に企業がどのような能力を求めているのかを明らかにする。

等の非正規雇用労働力に移行しつつある。そのため、これまでの一般職コースの従業員に求められていた能力・資質は大きく変化している。また一時期、一般職コースの採用は減少傾向にあったが、近年一般職の採用は増加しており、これは正規雇用としての一般職コースの従業員のニーズが高まっていることを意味している。たとえば、あるメガバンクでは、2009年度の一般職コースの採用予定者は約1,300人と、前年度と比較して約2倍になっている。ここで、一般職コースの従業員を、長期・継続的に雇用することの必要性がうかがえる。

また、アンケート調査の結果から「非定形的な業務を含むやや複雑な一般事務作業に求められる能力」や「定型的な業務の遂行に必要な単純な課題を早く性格にこなす能力」の高い人材が求められているといえる。つまり、より難易度の高い職

務という方向性より、ミスのない確実な仕事が求

められていることが明らかになっている。

1.4. なぜ一般職コースの採用が増えているのか

これまで、一般職コースの従業員が行ってきた業務を単純業務と捉え、非正規雇用に置き換えてきた流れが、現在ではいわば逆流しているともいえる。これは、どのような流れによるものなのであろうか。

第一に、コンプライアンスという点が挙げられる。個人情報保護法など、企業に高いコンプライアンスが求められる昨今、顧客側にとっても名簿等の取り扱いなどを非正規雇用の従業員に扱わせることへの不安が高まっているのではないかと考えられる。また企業内での不正に関する報道が増えているが、一般職コースの従業員は長期安定雇用を保証されていることから、逆にこれを失うリスクを負ってなんらかの不正を働くというリスクも下がるのではないかと考えられる。

第二に、職務内容の高度難易化が挙げられる。定型的な業務のうち、熟練を必要しない分野に非正規雇用の従業員を割り当てた結果、その中でも難易度の高い業務に一般職コースの従業員が集中的に投入されることで、結果的にOJTを中心とし

た教育訓練が必要な業務に携わるケースが増えている。これらはかつて勤務年数が長い一般職コースの従業員が担っていた業務であるが、企業の規模拡大等でニーズが大きくなったことが考えられる。しかしこのように教育訓練の必要性の増加は、総合職との違いという点では企業に新たな課題をもたらすものでもある。

第三に、一般職コースの管理職登用の増加が挙げられる。これまで一般職コースの従業員は補助的な業務を担当することが一般的であったが、現在では総合職への移動や一般職のままの管理職への登用などが行われている。これらは、もちろんこれまで女性を一般職コースでしか採用していなかった企業が女性の管理職登用を進める場合、そのリソースは当然一般職コースからしかない、といったケースもある。しかし、一般職コースの従業員の管理を同コースの管理職に任せることで、よりきめ細かなニーズに対応することが可能になるといったケースも多いのである。

1.5. 求人難の傾向にある一般職コースの採用

しかし、就職難といわれる昨今であるが、実は企業にとっては求人難でもある。これは、就職難であっても学生が就職先を選ぶ傾向が顕著であることがあげられる、企業の規模や職種へのこだわり、専門性を求める傾向が強いことは一般職コースを志望する学生であっても変わりはない。特に一般職コースは地味であると敬遠する向きもあり、アパレル等の販売職等、華やかに見える職

種を希望しているケースも多い。ここには、これまでの一般職コースのイメージから、「経験にならない」「単調な仕事」「給与が上がらない」といったイメージが根強く残っていることが挙げられる。同様に一般職コースであっても学生は大企業に集中的に応募する傾向があり、中小企業にとってはより不利な状況にある。また、これまで一般職コースに採用されるような短大・大学に進

学していた学生が、専門学校等に進学することで、実質的な応募者数は減少している。これに少子化が加わり、いっそう状況は難しくなっている。結果的に企業側が「採用したい」と評価する学生の数は減少し、求人難となるのである。

ここで、企業は学生がより自社を希望するインセンティブを高めるためにさまざまな方策を取る。そこで提示されるのが、「職域の拡大による

よりやりがいのある仕事」「総合職への転換や管理職への登用」など、これまでの一般職コースのイメージよりも魅力的なキャリアコースの姿である。また、勤務地の変更はないというこれまでの一般職コースの利点を継続することも重要である。同時に、コースそのものの名称を変更する場合も多い。このような取り組みにより、企業は求人難に立ち向かっているのである。

2. 企業の求人活動における能力試験

2.1. 学生の就職活動における能力試験

企業・団体による新規卒業者の採用にあたり、応募者が面接試験のほかペーパーベースやwebによる能力試験を課されるケースは非常に多い。多くの企業ではエントリーシート等の提出による書類選考を経て能力試験による選考と数度の面接試験を経て内々定へ至るという採用プロセスが一般的である³。他にも能力試験を課さないケースや面接試験が1度のケース、面接試験の後に能力試験を課すケースなど多様性はあるが、一般的ではない。そのため、就職試験対策としての能力試験対策は、学生にとっても避けられないものとなっている。

かつて新規学卒者の採用試験においてはSPIと呼ばれる試験やそれに類似する試験が圧倒的なシェアを占めており、これらは汎用性がある一方、単一種類の試験であるという弱点があった。しかし、2005年11月より就職試験最大手の株式会社リクルートマネジメントソリューションズがこれまで最大のシェアを持つといわれていた能力試験「SPI」の販売を停止し、新たな能力試験として「SPI2」という名称を冠した複

数の試験のリリースを開始した。このSPI2は主に下記の3種類に分類される。その第一は総合職・中途採用のためのものであり、「どのような仕事をこなす上でも共通して求められる汎用的な知的能力」を測定する。試験の種類としてはSPI2-U(四年制大学卒業予定者及び既卒者中途採用向け)、SPI2-A(四年制大学卒業予定者及び既卒者向け)、SPI2-B(研究・開発・SE等の新卒及び中途採用向け)、SPI2-G(中途採用向け)、SPI2-H(高等学校卒業予定者および既卒者向け)、がリリースされている⁴。第二には一般職採用のためのものであり、「非定形的な業務を含むやや複雑な一般事務作業に求められる能力」を測定する。試験の種類としてはSPI2-R(四年制大学ならびに短期大学卒業予定者向け)がリリースされている。この試験は事務職や準総合職への職掌転換にも利用されている。第三には事務職採用のものであり、「定型的な業務の遂行に必要な単純な課題を早く性格にこなす能力」を測定する。試験の種類としてはSPI2-N(短期大学ならびに高等学校卒業予定者向け)がリリー

スされている^{5,6}。このほか、SHL社が提供しているコンピュータ職用のCABや、総合職用のGAB、事務職用のOABも多く使われている。このように試験が多様化していることは、学生が能力試験対策を行う際にその焦点が非常に絞

り、入学者の大半は高校卒業後すぐ進学している。就職実績については高い評価を得られており、学生の大半もよりよい就職のための能力を高めることを入学の動機としていることが多い。学生も卒業後大半は事務職として企業等に就職している。この他、勤労学生の入学が多い夜間部である第Ⅱ部及び通信教育部が設置されているが、本稿の調査対象外である。

3. 研究の目的・方法及び調査対象

3.1. 本研究の目的

本研究においては、このような能力試験の多様化により学生が自ら能力試験対策をすることが難しくなっている現状を踏まえて、学生が就職活動時に実際にどのような能力試験を受験しているかを調査し、それを元にどのような能力が評価の対象になっているかを明らかにする。これをより教職員が学生への就職支援活動を行う際に利用できるデータを得ることが本研究の期待される成果である。具体的には「現在実施

されている就職活動にかかる能力試験の種類及び内容の実態」、「学生が受験している就職にかかる能力試験の利用率の実態」ならびに「教職員による学生への効果的な就職支援対策のあり方」を解明することであり、本研究の成果が、授業科目としての就職試験対策科目の改善や学生の就職相談に対応する教職員による学生への就職支援活動の向上や就職模擬試験の選定等に資することを目指すものである。

3.2. 本研究の調査対象

本研究は、ある短期大学⁷において実施した。同短期大学は東京にある。歴史的にも就職に強いと言われており、また立地的な強みも併せ持っている。経営学系のコースのみの単科短期大学であるが、一学年約500名の定員に対して入学者数は十分に定員を満たしている。今回の調査対象とした第Ⅰ部は共学であるが男子学生は極めて少なく、ほぼ女子教育に特化してお

り、入学者の大半は高校卒業後すぐ進学している。就職実績については高い評価を得られており、学生の大半もよりよい就職のための能力を高めることを入学の動機としていることが多い。学生も卒業後大半は事務職として企業等に就職している。この他、勤労学生の入学が多い夜間部である第Ⅱ部及び通信教育部が設置されているが、本稿の調査対象外である。

3.3. 先行研究の所在と本研究の意義

短期大学における職業支援については各種の研究が行われている。須永他(2007)は、就職活動によって採用内定に至った学生のコンピテン

シー（行動特性）モデルから、企業が求めている能力を分析し、自己表現力・行動力・思考力・元気度の4つを兼ね備えることが重要であ

ると結論付けた。桑原(2008)は就職活動のプロセスや応募に関するツールについて考察し、高い行動力と、時間・身だしなみ・言葉使いの3つを兼ね備えた学生が就職活動に成功すると結論付けた。鍵岡他(2008)は、採用試験については直接扱っていないものの、卒業生に対して学習・仕事・生活に関する調査を行い、話し言葉によるコミュニケーション・人との交渉能力、接触能力が採用後に重要であることを明らかにした。

池田(2008)は、就職活動への効力感期待と自己と就職の結合への期待が高いものほど就職活動の開始時期が早く、内定も多いという結果から、学生の探索志向と上位志向を高めることが重要であると結論付けた。伊藤他(2007)は、短期大学の場合の就職活動の開始時期や内定時期・求人情報の入手経路に関する調査を行い、早期からの就職活動開始が内定に結びついたケースが多いこと、また求人情報は短大内の就

3.4. 本研究の手法

本研究の手法は、文献調査やヒアリング等で現在行われている就職試験に対する大要を把握した上で、2007年7月に就職活動が終了した2008年3月卒業予定者に対してどのような能力試験を受験したかを問うアンケートを実施し、この結果を2005年11月に実施した2006年3月卒業者に対する同様のアンケート結果と比

較し、SPIからSPI2への移行が学生の能力試験の受験傾向にどのような流れが生まれているかを比較調査する。この調査結果を踏まえ、2009年度卒業予定者の一部に対して調査結果に適合した模擬試験を実施し、これらの学生にどのようなサポートが必要であるかを明らかにする。

職支援部門での求人票の閲覧が多くインターネットが少ないことが特徴的であることが明らかになった。片桐(2007)は、事例として信州短期大学での短期大学における就職支援体制を説明するとともに、学生の基礎学力の不足を指摘した。椿(2006)は、女性が職業を持つことについてのアンケートを実施し、就職には肯定的だが、常用雇用の継続について過半数は否定的であり、専業主婦傾向も強くワークライフバランスを重視する傾向にあることを明らかにした。

このように、上記で述べた研究は調査を実施しているものの、「どのような試験内容であったか」を調査したものではない。就職試験対策については、わずかに高林(1991)や牧下(1989)などが挙げられるもの、のこれらは短期大学の学生に特化したものではない。そのため、本研究はこれまでブラックボックスに近く、経験的な知識に頼られていた分野を、明確にするという点で意義あるものとする。

4. 調査結果の概要

4.1. 事前調査による仮説設定

まず文献調査によると、研究の目的に記載したようにSPI2の試験種別があることが判明した。また、これらの試験対策としての模擬試験を提供している株式会社学研メディコン⁸や株式会社文化放送キャリアパートナーズ⁹、及び教材作成業者である株式会社実務教育出版¹⁰へのヒアリングや文献調査により、短期大学卒業予定者に対するいわゆる一般職としての採用の際の能力試験には、従来のSPIがターゲットとしていた、高校までに身につけた学力ではなく、SPI2-Rにて測定される「非定形的な業務を含むやや複雑な一般事務作業に求められる能力」や、SPI2-Nの試験において測定される「定型的な業務の遂行に必要な単純な課題を早く正確にこなす能力」の比重を高くしているということが得られた。この形式の試験は、「金融・保険・証券・商社・メーカーなどの事務職

一般職で幅広く実施」¹¹されているとされ、特に銀行、特にいわゆるメガバンク¹²の一般職採用がこのような能力試験に移行している¹³とのことである¹⁴。これらの事情には、最近の全般的な学生の学力不足から、かつての学力試験では受験生の成績に差がつかないという現状もある。また、テキストを作成している株式会社実務教育出版編集部の担当者からは、複数の短期大学および四年制女子大学においてこれらの試験の対策のためのテキストを教科書として納入しているとのことであった。

このようなことから、「事務職・一般職の採用にあたって、企業は能力試験を学力試験から事務職適性検査にシフトしている。」という仮説を設定し、これに対してアンケート調査を実施し、これを2005年度に実施した同様の調査と比較することによって検証を行った。

4.2. 就職活動時の能力試験の受験状況に関するアンケート調査の概要

これらの試験が実際にどのように使用されているかを調査し、どのような能力が求められているのかを明らかにすることを目的として、調査対象とした短期大学が、2006年度卒業予定者に対して、2005年度に実施した「就職活動の際にどのような能力試験を受験したか」を問うアンケート（図1）を踏まえて、同短期大学において、2008年卒業予定者に対してSPI2への移行を踏まえた調査項目の追加を行い、2007年7月にアンケート（図2）を実施した。

調査項目は、SPI（言語と非言語あるいはそ

れに似た試験）、GAB（計数・言語：表を読み取って回答する試験）、一般常識試験、会社独自で作られた試験（国数・一般常識など）、プログラマ適性検査、CAB（暗算・法則性・命令表・暗号など）、性格テスト、OABなどの事務適性検査（簡単な計算や表の間違い探し）、クレバリン検査（一桁の数字を足す試験）、作文、GATB（一般職業適性検査）、その他の12種であり、自分の受験した会社最大4社について解答するものである。2007年度調査においてはSPIの項目の中に小項目として「言葉や文

章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験)、「並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験」、「グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験」の3つを追加し、これらはそれぞれSPI2-R、SPI2-N、SPI2-U・Aのいずれかであっ

たかを問う項目である。

ただしこれらの項目は学生のこれまでの学習によって影響を受けるバイアスとなる。具体的には中学生レベルの数学を難しいと感じる学生にとっては前二者であっても、「難易度の高い試験」と解答してしまうことが想定されるからである。

就職試験に関する調査

2005年12月
学生委員会 就職支援グループ

末年度の就職活動支援のために就職試験に関する調査を行なっています。2年生の体験した「就職試験」について教えてください。みなさんの個人情報は現1年生に対する就職活動支援の範囲内で活用させていただきます。

記入等で就職活動を行なわなかった人は記入不要です。よろしくご協力のほど、お願いします。

| | | | | |
|------|------------------------|---------------------|------------------------|--|
| 学生番号 | コース (該当するコースに○をつける) | | | |
| 氏名 | 1. ビジネスマネジメント 2. 秘書 | 3. 観光・国際 4. 経営情報 | 5. メディアデザイン 6. 経営会計 | |

あなたが体験した就職試験の番号に○をいれてください(複数回答可)。その試験を受けた会社の名前を書いてください。覚えてなければ会社名は空欄でも結構です。

| | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 会社名 () | 会社名 () |
| 1 SPI(言語と非言語)あるいはそれに似た試験 | 1 SPI(言語と非言語)あるいはそれに似た試験 |
| 2 GAB(計数・言語:表を読み取って回答する試験) | 2 GAB(計数・言語:表を読み取って回答する試験) |
| 3 一般常識試験 | 3 一般常識試験 |
| 4 会社独自で作られた試験(国・数・一般常識など) | 4 会社独自で作られた試験(国・数・一般常識など) |
| 5 プログラム適性検査 | 5 プログラム適性検査 |
| 6 CAB(コンピュータ職専用:暗算, 判断性, 暗号解読) | 6 CAB(コンピュータ職専用:暗算, 判断性, 暗号解読) |
| 7 性格テスト(SPI, DPIなどの適性をみるもの) ※1 | 7 性格テスト(SPI, DPIなどの適性をみるもの) ※1 |
| 8 事務適性検査 | 8 事務適性検査 |
| 9 タレベリン検査(一桁の数字を足す試験) | 9 タレベリン検査(一桁の数字を足す試験) |
| 10 作文 ※2 テーマ: () | 10 作文 ※2 テーマ: () |
| 11 GATB(一般職業適性検査) ※3 | 11 GATB(一般職業適性検査) ※3 |
| 12 その他 () | 12 その他 () |

| | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 会社名 () | 会社名 () |
| 1 SPI(言語と非言語)あるいはそれに似た試験 | 1 SPI(言語と非言語)あるいはそれに似た試験 |
| 2 GAB(計数・言語:表を読み取って回答する試験) | 2 GAB(計数・言語:表を読み取って回答する試験) |
| 3 一般常識試験 | 3 一般常識試験 |
| 4 会社独自で作られた試験(国・数・一般常識など) | 4 会社独自で作られた試験(国・数・一般常識など) |
| 5 プログラム適性検査 | 5 プログラム適性検査 |
| 6 CAB(コンピュータ職専用:暗算, 判断性, 暗号解読) | 6 CAB(コンピュータ職専用:暗算, 判断性, 暗号解読) |
| 7 性格テスト(SPI, DPIなどの適性をみるもの) ※1 | 7 性格テスト(SPI, DPIなどの適性をみるもの) ※1 |
| 8 事務適性検査 | 8 事務適性検査 |
| 9 タレベリン検査(一桁の数字を足す試験) | 9 タレベリン検査(一桁の数字を足す試験) |
| 10 作文 ※2 テーマ: () | 10 作文 ※2 テーマ: () |
| 11 GATB(一般職業適性検査) ※3 | 11 GATB(一般職業適性検査) ※3 |
| 12 その他 () | 12 その他 () |

注1:性格テスト「変わったことを構やむことが・・・」「他人のことが気になる・・・」「夜寝れないことが・・・」などの質問がなるが検査です。

注2:作文:テーマを変えていなければ○だけで結構です。

注3:GATB:「点を打つ」「左右の文字や数字の違いを見つける」、「計算」、「同義語・反義語を見つける」、「文章完成」などの試験です。

図 1 2005年度アンケート用紙

就職試験に関する調査

2007年7月

短期大学

就職活動支援のために就職試験に関する調査を行っています。2年生の体験した「就職試験」について今まで受験した範囲で教えてください。お答えいただいた情報は集計の上、就職活動支援の範囲内で活用させていただきます。編入等で就職活動を行わなかった人は記入不要です。よろしくご協力のほど、お願いいたします。

あなたが体験した就職試験の番号に○をいれてください。(複数回答可)。その試験を受けた会社等の名前を書いてください。覚えていなければ会社名は空欄でも結構です。

| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。</td> </tr> <tr> <td>A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験</td> </tr> <tr> <td>B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験</td> </tr> <tr> <td>C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験</td> </tr> <tr> <td>2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験)</td> </tr> <tr> <td>3 一般常識試験</td> </tr> <tr> <td>4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など)</td> </tr> <tr> <td>5 プログラム適性検査</td> </tr> <tr> <td>6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など)</td> </tr> <tr> <td>7 性格テスト</td> </tr> <tr> <td>8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し)</td> </tr> <tr> <td>9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験)</td> </tr> <tr> <td>10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:()</td> </tr> <tr> <td>11 GATB (一般職業適性検査)</td> </tr> <tr> <td>12 その他 ()</td> </tr> </tbody> </table> | 会社名 | 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | 3 一般常識試験 | 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | 5 プログラム適性検査 | 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | 7 性格テスト | 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | 11 GATB (一般職業適性検査) | 12 その他 () | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。</td> </tr> <tr> <td>A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験</td> </tr> <tr> <td>B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験</td> </tr> <tr> <td>C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験</td> </tr> <tr> <td>2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験)</td> </tr> <tr> <td>3 一般常識試験</td> </tr> <tr> <td>4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など)</td> </tr> <tr> <td>5 プログラム適性検査</td> </tr> <tr> <td>6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など)</td> </tr> <tr> <td>7 性格テスト</td> </tr> <tr> <td>8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し)</td> </tr> <tr> <td>9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験)</td> </tr> <tr> <td>10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:()</td> </tr> <tr> <td>11 GATB (一般職業適性検査)</td> </tr> <tr> <td>12 その他 ()</td> </tr> </tbody> </table> | 会社名 | 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | 3 一般常識試験 | 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | 5 プログラム適性検査 | 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | 7 性格テスト | 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | 11 GATB (一般職業適性検査) | 12 その他 () |
|---|-----|---|--|--|-------------------------------|-----------------------------|----------|---------------------------|-------------|-------------------------|---------|--------------------------------|------------------------|--|--------------------|------------|---|-----|---|--|--|-------------------------------|-----------------------------|----------|---------------------------|-------------|-------------------------|---------|--------------------------------|------------------------|--|--------------------|------------|
| 会社名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 一般常識試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 プログラム適性検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 性格テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 GATB (一般職業適性検査) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 その他 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 一般常識試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 プログラム適性検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 性格テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 GATB (一般職業適性検査) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 その他 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。</td> </tr> <tr> <td>A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験</td> </tr> <tr> <td>B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験</td> </tr> <tr> <td>C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験</td> </tr> <tr> <td>2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験)</td> </tr> <tr> <td>3 一般常識試験</td> </tr> <tr> <td>4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など)</td> </tr> <tr> <td>5 プログラム適性検査</td> </tr> <tr> <td>6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など)</td> </tr> <tr> <td>7 性格テスト</td> </tr> <tr> <td>8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し)</td> </tr> <tr> <td>9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験)</td> </tr> <tr> <td>10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:()</td> </tr> <tr> <td>11 GATB (一般職業適性検査)</td> </tr> <tr> <td>12 その他 ()</td> </tr> </tbody> </table> | 会社名 | 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | 3 一般常識試験 | 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | 5 プログラム適性検査 | 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | 7 性格テスト | 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | 11 GATB (一般職業適性検査) | 12 その他 () | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。</td> </tr> <tr> <td>A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験</td> </tr> <tr> <td>B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験</td> </tr> <tr> <td>C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験</td> </tr> <tr> <td>2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験)</td> </tr> <tr> <td>3 一般常識試験</td> </tr> <tr> <td>4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など)</td> </tr> <tr> <td>5 プログラム適性検査</td> </tr> <tr> <td>6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など)</td> </tr> <tr> <td>7 性格テスト</td> </tr> <tr> <td>8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し)</td> </tr> <tr> <td>9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験)</td> </tr> <tr> <td>10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:()</td> </tr> <tr> <td>11 GATB (一般職業適性検査)</td> </tr> <tr> <td>12 その他 ()</td> </tr> </tbody> </table> | 会社名 | 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | 3 一般常識試験 | 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | 5 プログラム適性検査 | 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | 7 性格テスト | 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | 11 GATB (一般職業適性検査) | 12 その他 () |
| 会社名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 一般常識試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 プログラム適性検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 性格テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 GATB (一般職業適性検査) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 その他 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SPI (言語と非言語) あるいはそれに似た試験 ○をつけた場合以下のA-Cにも○をつけてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A) 言葉や文章の分類やだいたいの答えの計算、文書が正しいかの照合などの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B) 並んだ文字の正誤の照合・表の読み取り、文字や数字の置き換え、漢字の正誤のチェックなどの試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C) グラフや確率、速さ・時間・距離などの難易度の高い試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 GAB (語数・言語:表を読み取って回答する試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 一般常識試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 会社独自で作られた試験 (国数・一般常識など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 プログラム適性検査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 CAB (暗算・法則性・命令表・暗号など) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 性格テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 OABなどの事務適性検査 (簡単な計算や表の問題・探し) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 クレバリン検査 (一桁の数字を足す試験) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 作文 (テーマは覚えていなくても書いてください) テーマ:() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 GATB (一般職業適性検査) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 その他 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コース | クラス | 学生番号 | 名前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

図 2 2007年度アンケート用紙¹⁵

4.3. アンケート調査結果

このアンケート調査の結果、2005年度調査で774社分、2007年度調査で1,550社分のデータが得られた¹⁶。比較調査のため、この数字を母数として各試験の受験率をパーセント表示し、これを比較した。その結果は下記のグラフ及び

表の通りとなった。なお、この図表中の項目「学力検査系」はSPI及びSPI2-U、「事務適性系」はSPI2-R、SPI2-Nおよび事務適性検査の合計数を表示している。

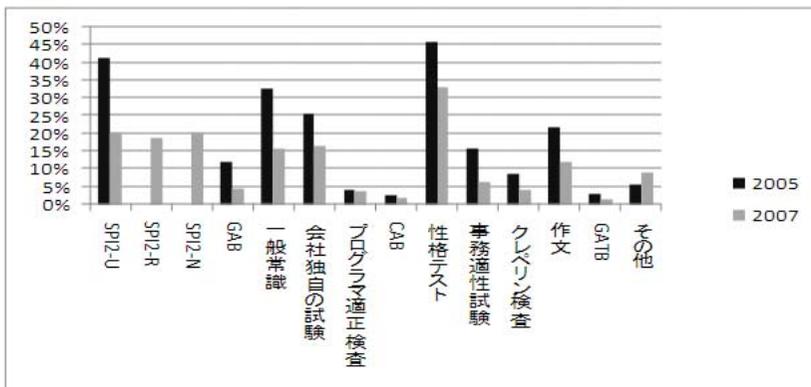


図 3 就職試験の種類別実施比率経年比較

| 調査年度 | SPI2-U | SPI2-R | SPI2-N | GAB | 一般常識 | 会社独自の試験 | プログラム適正検査 | CAB | 性格テスト | 事務適性試験 | クレペリン検査 | 作文 | GATB | その他 | 総回答数 | 学力検査 | 事務適性検査 | SPI全体 |
|------|--------|--------|--------|-----|------|---------|-----------|-----|-------|--------|---------|-----|------|-----|------|------|--------|-------|
| 2005 | 320 | | | 94 | 254 | 197 | 33 | 21 | 354 | 122 | 66 | 168 | 22 | 45 | 774 | 320 | 122 | 320 |
| 2007 | 317 | 289 | 317 | 72 | 243 | 256 | 61 | 30 | 515 | 99 | 65 | 189 | 24 | 142 | 1550 | 370 | 705 | 923 |

表 1 就職試験の種類別実施解答数

| 調査年度 | SPI2-U | SPI2-R | SPI2-N | GAB | 一般常識 | 会社独自の試験 | プログラム適正検査 | CAB | 性格テスト | 事務適性試験 | クレペリン検査 | 作文 | GATB | その他 | 総回答数 | 学力検査 | 事務適性検査 | SPI全体 |
|------|--------|--------|--------|-----|------|---------|-----------|-----|-------|--------|---------|-----|------|-----|------|------|--------|-------|
| 2005 | 41% | 0% | 0% | 12% | 33% | 25% | 4% | 3% | 46% | 16% | 9% | 22% | 3% | 6% | 100% | 41% | 16% | 41% |
| 2007 | 20% | 19% | 20% | 5% | 16% | 17% | 4% | 2% | 33% | 6% | 4% | 12% | 2% | 9% | 100% | 24% | 45% | 60% |

表 2 就職試験の種類別実施比率

この調査結果から、一般職コースの新規採用試験においては、旧来のSPIにみられるような学力検査的な能力試験は大幅に減り、他の試験についても比率が低下している一方、いわゆる

4.4. 模擬試験の実施

アンケート調査を踏まえ、事務適性系のSPI2を受験した場合に現在の学生はどの程度の成績であり、またそれを受験した際にどのような印象を受けるのかを把握することを目的として、実際に模擬試験を実施することとした。現在この分野の模擬試験は2社が実施しており、SPI2-Rについては株式会社文化放送キャリアパートナーズ¹⁷が、SPI2-Nについては株式会社文化放送キャリアパートナーズと株式会社学研メディコンの2社が実施している。このうち成績表等の送付や全国順位等を集計する¹⁸学研メディコンの模擬試験(SPI2-N型)を採用し、

4.5. 模擬試験受験後のアンケート実施

模擬試験実施後に図4のアンケートを実施し、学生のこのタイプの試験への印象を調査した。2-4以外の設問については設問に対し1～5の数字で解答し、5がもっとも肯定的、1

事務適性を測定する検査が急激に伸びていることが判明した。この結果から、事務適性検査が一般職・事務職採用において大きなシェアを持っていることが判明した。

高等学校・短期大学新規卒業予定者向けの就職試験に対する学生の成績や学生が受ける印象を分析することとした。

模擬試験は2008年2月26日とし、受験料を無料として2月18日に同短大内において80名の募集を行い、当日中に募集枠を満たした。当日はそのうち68名が受験した¹⁹。試験時間は31分間であり、問題Ⅰ（事務処理：照合）、問題Ⅱ（事務処理：置き換え）、問題Ⅲ（計算問題）、問題Ⅳ（事務処理：表の読み取り）、問題Ⅴ（漢字の読み書き）の5種類の内容である²⁰。

がもっとも否定的という回答とし、2-4については1～5の回答をⅠ～Ⅴに対応することとした。アンケートの集計結果は表3および表4の通りである。

SPI-N 型●●試験（2月26日実施）実施後アンケート

1. あなたがこれまでに●●短大で履修した科目についてお答えください。

| 履修 | 科目名 | 教員名 | どのくらい理解しましたか | |
|----|---------|-----|--------------|---|
| | | | × | ○ |
| | 数的理解の基礎 | | 1 | 2 |
| | 数的理解演習 | | 1 | 2 |

2. 試験の難しさについて

(1) この試験は簡単でしたか？それとも難しかったですか？

わからなかった 普通 よくわかった ご意見があれば：

× 1 - 2 - 3 - 4 - 5 ○

(2) この試験の時間は十分でしたか？

たりなかった 普通 十分だった ご意見があれば：

× 1 - 2 - 3 - 4 - 5 ○

(3) 授業で学んだことを活かしましたか？

できない 普通 できた ご意見があれば：

× 1 - 2 - 3 - 4 - 5 ○

(4) 難しい問題で特に印象に残っているものがあつたら教えてください。

3. 次にこの試験を受験することになったら、今回よりもできると思えますか？

できない 普通 できる ご意見があれば：

× 1 - 2 - 3 - 4 - 5 ○

4. 今回の模擬試験は自分にとって有意義だったと思えますか？

必要ない 普通 よかった ご意見があれば：

× 1 - 2 - 3 - 4 - 5 ○

5. そのほか、今回の試験を受けてみての感想があつたらお書きください。

| | |
|------|----|
| 学生番号 | 名前 |
| | |

※このアンケートは、就職試験対策科目の改善のためのみに利用いたします。

図 4 模擬試験受験後アンケート

| 項目番号 | 1-1 | 1-2 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 3 | 4 | |
|-------|----------------------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------|-------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------|--------|
| 質問内容 | どのくらい理解しましたか？ (数的理解の基礎) | どのくらい理解しましたか？ (数的理解演習) | この試験は簡単でしたか？ それとも難しかったですか？ | この試験の時間は十分でしたか？ | 授業で学んだことを活かせましたか？ | 難しい問題で特に印象に残っているものがありましたら教えてください。 | 次にこの試験を受験することになったら今回より思えますか？ | 今回の模擬試験は自分にとって有意義だと思いますか？ | |
| 回答項目 | 1 | 1 2% | 0 0% | 2 3% | 37 54% | 13 19% | 3 5% | 1 1% | 0 0% |
| | 2 | 8 15% | 2 13% | 13 19% | 23 34% | 11 16% | 3 4% | 3 4% | 1 1% |
| | 3 | 26 48% | 2 13% | 42 62% | 7 10% | 28 41% | 2 3% | 32 47% | 3 4% |
| | 4 | 14 26% | 10 63% | 9 13% | 0 0% | 12 18% | 38 63% | 25 37% | 33 49% |
| | 5 | 5 9% | 2 13% | 2 3% | 1 1% | 4 6% | 6 10% | 7 10% | 31 46% |
| 回答者総数 | 54 100% | 16 100% | 68 100% | 68 100% | 68 100% | 60 100% | 68 100% | 68 100% | |

表 3 模擬試験実施後アンケート回答結果集計

なお、1-1ならびに1-2の回答者総数に含まれない数はそれぞれ数的理解の基礎ならびに数的理解演習を履修していない学生である。また2-4については回答者総数は59名であるが、複数回答者が1名あり回答総数としては60となるためそのように記載した。以下に各項目ごとに分析を行った。

項目1-1及び1-2は、受験した学生が同短期大学における数的理解系の就職対策科目である「数的理解の基礎」及び「数的理解演習」への理解度への問いで、模擬試験を受験した学生がどのくらいの学力であるかをおおまかに測る設問である。なお、科目名が示すとおり、「数的理解の基礎」は数的理解に関する基礎的な能力を向上させる科目、「数的理解演習」はそれを前提として応用力を高めるための科目である。同模擬試験の受験者中、「数的理解の基礎」の受講者は54名、「数的理解演習」の受講者は16名であり、「数的理解の基礎」の受講者の理解への自己認識の分布は3が最も多く両側に

広がり分布は広く、一方「数的理解演習」の受講者のそれは4がもっとも多いと比較的自信があることが伺われる。

また、項目2-1は試験の難易度を問う設問であり、難易度の認識も3を中心に左右に広がっている。一方で、項目2-2に示す試験時間に対する設問には回答者の大半は時間が足りなかったと回答し、この試験が測定しようとしている「定型的な業務の遂行に必要な単純な課題を早く正確にこなす能力」を学生が難しいと認識することを表している。

項目2-3は授業が役立ったか否かを問う設問で、これも3を中心に回答は広く分布している。また、項目2-4は5種類の問題のうち特に印象に残った問題をと回答するものであり、圧倒多数は4を選択し、自由記述からも計算問題を難しいと感じる学生がとて多いことが判明した。自由記述については表4のような記載があった。

| |
|---|
| 2 (1) 「この試験は簡単でしたか?それともむずかしかったですか?」自由記述 難しさがバラバラだった/内容も少し難しかったが、マークシートを記入する時間がかかった。/ぬりつぶすのに時間がかかった/マークシートだったから、速く解かなければいけなかったので大変だった。/数学や図は分かる |
| 2 (2) 「この試験の時間は十分でしたか?」自由記述 私はやることとおそいから時間が短く感じた。/ほとんどできなかった/あつという間でおどろきました。... /半分いくくらいで終わってしまった。/もう少し時間が長いといいなと思った。/マークシートをぬりつぶす時間ももったいないと思いました。/解答時間が少なく焦りました。/タイプ I の問題をとく時間が問題数のわりになさすぎる。/ただ時間が足りない/早くて手と頭がついていきません/5分間は難しいです。/数的理解演習で習ったことばかりだった |
| 2 (3) 「授業で学んだことを活かしましたか?」自由記述 授業取ってませんでした。/あまり関係ない気がした/授業でやったことがあったので、それはよかった/授業で習ったことはあまりでてこなかったと感じました。/タイプ I、II、IVはやったことがあったため。 |
| 2 (4) 「難しい問題で特に印象に残っているものがあれば教えてください。」自由記述 計算問題の分数が久々だったので少してこずりました。/タイプIV/タイプIVの計算の問題/運賃の問題でさすがが大変だった。/タイプIIIが文字と数字が結びつかなくて苦労した。/タイプIVのもんだい/新幹線の値段を調べる問題/数学と表から数字を読み取る問題に時間をかけすぎてしまいました。/運賃のやつ/分数の計算/タイプIIIが簡単そうに見えて意外とわからなかった。途中でこんがらがってしまった。/運賃問題/分数の計算で時間がかかった/料金表/タイプIVがむずかしかった。/漢字/タイプIVの問題が難しかったです。/計算問題が難しかった。/数学の問題の桁数がおおかったとこ/タイプIVが難しかった/計算問題です。/運賃/数学(計算)/計算問題が難しかった。/小数点でとまどり.../計算が難しかったです。(分数・小数点)/表を見て答えるだけなのにタイプIIがいがいと時間がかかってしまった/数字の計算問題・分数/タイプIでみてる...どこが違うのか解らなくなる.../タイプII/タイプIVの問題/四則演算/10 ⁻⁴ ←こういう計算(入力者注:累乗)/タイプ4の計算問題。時間もの凄く足りなかった。/IVの問題が地味に時間がかかった。/漢字があっているか、そうでないか/小数点の計算/タイプIV/計算する問題に時間がかかった/小数点のかけ算/特にありません。/タイプIVの計算が難しかった/最初電車の料金表の見方が分からなくてとまどった。/タイプ4、小数点の計算がむずかしかった/IV/タイプIV/分数のわり算/タイプIVの問題全般。/タイプV/タイプIVが苦手です。/特急とかの問題/タイプVが難しかった。数学ではないため。/計算問題が難しかった。(タイプIV)/非言語問題の計算(考えているひまが無い)/タイプVが特に難しく感じた |

表 4 項目2自由記述欄への記載一覧

項目3は複数回の受験が成績の向上につながる どの学生は3以上を回答している。
るかと考えているかを問う設問であり、ほとん

| |
|--|
| 3 「次にこの試験を受験することになったら、今回よりもできると感じますか?」自由記述 これを機会に少し練習しようと思った/やってみないとわからない!/勉強する機会がない気がする。/手の調子にもよると感じます |
|--|

表 5 項目3自由記述欄への記載一覧

項目4は自分にとってこの模擬試験が有意義 験の形式を事前に体験しておくことが学生に
だったかという設問でほぼ全ての学生が4以上 ともプラスであると考えているところが見
を回答している。このことから、このような試 て取れる。

| |
|--|
| 4 「今回の模擬試験は自分にとって有意義だったと感じますか?」自由記述 やったことがなかったのどういものなのかがわかってよかった/練習になった/知っていると感じていないでは違う。/とても参考になりました |
|--|

表 6 項目4自由記述欄への記載一覧

項目5は自由記述であり、下記のような記載があった。

5 「そのほか、今回の試験を受けてみての感想があったらお書きください。」自由記述
自分のとろさがよりわかった。時間がかかってしまうことがわかった。/普段から練習しようと思いましたが、自分はまだまだペースが遅いと思った!!/もっと勉強しようと思いました。/どんな問題か体験できたのでよかったです。スピードをもっとつけておこうと思いました。/教習所で行う試験と似ていて楽しくできた/1度経験できてよかったです。/時間が思ったよりも短くてすごく焦りました。/今回の就職試験を受けて、問題のタイプが把握できた。/時間が早い/練習になったのでよかったです!/一問一問に時間をかけ過ぎてしまいました。終了時間も早くておどろきです。/時間が足りない/自分が思っていたテストではなかったのが驚いたです/マークシート記入のときに記入場所がずれてしまった。/タイプV/初めての形式だったので、経験になりました。/初めて受けたけど、慣れれば効率よくできると思う。/時間配分が難しいと思った。/解答欄がズレることがあるので、注意したいと思いました。また、シャープよりえんぴつの方がいいと思いました。/時間が5分というのが焦ってしまった。/どんなところを勉強すればいいかがなんとなくわかった/SPIの練習ができ、自分の力が足りないことが分かったので今後努力していきたい/普通のSPIの問題よりは楽しくできた。時間を考えて速く解けるようにできたら良いと思った。/今回の形式の試験が初めてだったので受けることができよかったです。/自分の結果を見るのがたのしみです!/
今回ののは初めての形式だったので勉強になった/初めてだったので時間が足りなくて焦ってしまったけれど、どんなものなのかがよく分かって良い経験になりました。/練習をしていかないと出来ない...という事が、よくわかりました。勉強していくようにします.../時間の短さに驚いた/無料で受けられたのはよかったです。/予定通りの時間に開始を!/問題自体はそこまで難しくなかったけど、やはり全然時間が足りないという事を改めて/実感しました。これからは多くの問題を速く解けるように慣れて行きたいと思えます。/無料で受けられたのでとても助かった。受けた価値があった!!ありがとうございました☆/初めての様な問題の試験を受けた。ゆっくり1コの問題に時間をかけてしまったので、時間が足りなかった/少しでもマークシートに記入する時間を短縮していけるようにし、問題集を聞いていきたいと思う。/計算問題で計算することに、時間がかかってしまいました。今回の試験をうまく就活にいかしたいと思う/自分のためになりました。/このような試験を受けるのは初めてだった。自分が苦手とする分野が分かって良かった。これから活かしたいと思う。今回、受けてみて非常に自分のためになったのでよかったです。ありがとうございました。/時間が足りな過ぎて驚いたが、良い経験になった。次に生かしたいと思う。/計算をもっとはやく出来るように勉強するべきだと思った/時間があつという間で、全部うめられなかった。思ってたより、時間が早かった。/どんなタイプの問題があるかだいたい理解できたのでよかったです。/効率のよさと漢字の知識も必要だと感じた。/マークシートを丁寧にぬりすぎて時間がなくなってしまった。読みとる時間が遅かった。計算が苦手です/とても焦りました。本番だったら緊張でもっと焦るだろうと思いました。/理科系とか公民系(政治・経済)なものも受けてみたい/集合時間ちょうどに行われなかったのが残念。/このような形式のテストを体験でき、問題の解き方の工夫も必要だということがわかりました。とても有意義なテストになりました。ありがとうございました。/漢字の勉強ももっとしようと思った/時間が足りなくて大変だった

表 7 項目5自由記述欄への記載一覧

これらのアンケート結果を踏まえ全体的な考察を行うと、学生は事務適性の試験については全体的には問題が難しいと感じることは少ないと感じる一方でそれらを早く正確に回答するこ

とについては難しいと感じていることが判明した。また、問題IVにみられる簡単な計算問題を難しいと感じる学生はかなり多く、基礎的な計算能力が低い学生が多いことも判明した。

5. 結論と今後の課題

5.1. 結論

第3章の研究方法に基づいた第4章の調査結果により、本研究の成果として求められている、「現在実施されている就職活動にかかる能力試験の種類及び内容の実態」及び「学生が受験している就職にかかる能力試験の利用率の実態」について、実証的な調査が実施できた。特に、

これまで求められてきたいわゆる「学力」より「作業能力」を中心とした能力試験が実施されているケースは多くかつ増えてきており、いわゆる総合職との分化が進んでいることが明らかになった。

5.2. 教職員による学生への効果的な就職支援対策のあり方

今後の課題として以下のことがあげられる。第一に今回調査対象となった学生が苦手と考えている「早く正確に問題を解答する」能力をどのように図るかという点であり、これは授業科目「数的理解の基礎」などにおいて練習を重ねることを重視したプログラムを作成することである。第二に簡単な計算問題を難しいと感じる

学生の能力向上をどのように図るかという点であり、例えば公文式のような手法による計算能力の向上を検討するなどの手法が有効ではないかと考えられる。第三に、そもそもこのような問題を難しいと感じる学生へのキャリア支援をどのように行うかという問題があり、これは今後の課題となるであろう。

5.3. 能力試験の分析を踏まえた、これからの一般職コースのあり方

かつて多くの企業は、女性を一般職コースの採用に限定しており、女性の社会進出を抑制する一方で、従来の性別による役割を固定化していた一面を否定できない。しかし現在では、ワークライフバランスという点からも、一般職コースという存在はより多様な選択肢のひとつとなっている。そして、過去と比較して現在は

より同コースの活用は進んでおり、その重要性も増している。採用試験の分析においても明らかになった、同コースの従業員の「ミスのない確実な仕事」という方向性での能力開発は、企業の成長の直接的要因にはならないまでも、その環境を整備するという点で大きく貢献するであろう。

註

- 1 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和四十七年七月一日法律第百十三号）
- 2 労働者に対する性別を理由とする差別の禁止等に関する規定に定める事項に関し、事業主が適切に対処するための指針（平成18年厚生労働省告示第614号）
- 3 他にも能力試験を課さないケースや面接試験が1度のケース、面接試験の後に能力試験を課すケースなど多様性はあるが、一般的ではない。
- 4 試験の内容については各種SPI2関連書式を参考されたい。
- 5 SPI2に関する解説の詳細はリクルートマネジメントソリューションズ社によるwebサイトを参照されたい。（<http://www.recruit-ms.co.jp/service/spi2/measurement3.html>）
- 6 試験内容の詳細については就活ネットワーク(2007)等を参照されたい。
- 7 学校名については本文中に明記していない。
- 8 企業情報については<http://www.gakken-m.co.jp/>を参考のこと。
- 9 企業情報については<http://www.careerpartners.co.jp/>を参考のこと。
- 10 企業情報については<http://www.jitsumu.co.jp/>を参考のこと。
- 11 就活ネットワーク(2007), p.1
- 12 メガバンクとは、特に巨大な経営組織となっている都市銀行もしくはそれを包含する金融グループを指す。日本では、三菱UFJフィナンシャル・グループ・みずほフィナンシャルグループ・三井住友フィナンシャルグループの3つがメガバンクであると言われている。
- 13 株式会社学研メディコン担当者へのヒアリングによる。
- 14 複数のヒアリングにて得られたが、就職能力試験の特性上採用企業側に確認することはできない。
- 15 資料中に学校名が明記されているため、その部分は不可視処理を実施した。
- 16 アンケート結果は回答人数ではなく回答件数をデータとして使用している。
- 17 株式会社文化放送キャリアパートナーズは、サイコテストセンターの模擬試験問題の代理店であり、自社で実施しているわけではないが独占的代理店でありサイコテストセンターとの直接取引ができないためこのように表記した。
- 18 問題と解答のみの模擬試験では、調査が難しいことが考えられたことによる。しかし、問題毎の正答率が開示されなかったこともあり、その点では情報は不足した。
- 19 受験しなかった12名は、欠席した者、受験票を忘れ試験官等に問い合わせることなく受験をあきらめた者、大幅な遅刻により受験が不可能であったものなどに分類される。
- 20 実際の問題は開示されていない。

参考文献

- 阿部正浩(2005)「男女の雇用格差と賃金格差」『日本労働研究雑誌』、日本労働政策研究・研修機構、Vol.47(5)、pp.15-31.
- 池田善英(2008)「短期大学の就職活動」『東京成徳短期大学紀要』、vol.41、pp.53-59.
- 伊藤功子・大塚慎裕・伊藤七衣・井深和正(2008)「就職活動に関する短大生の行動と意識」『東海女子短期大学紀要』、vol.34、pp.33-40.
- 鍵岡正俊・大岡知子・高木信良・堀初子・森川英子(2008)「関西女子短期大学卒業生の進路・キャリア形成と短大評価」『関西女子短期大学紀要』、vol.18、pp.93-101.
- 片桐学(2007)「本学における就職活動の実態とその課題」『信州短期大学紀要』、vol.18、pp.49-52.
- 桑原賢二(2008)「最近の就職活動に関する一考察」『東京交通短期大学研究紀要』、vol.14、pp.149.
- 須永一・山口雄三(2007)「就職活動における短大生のコンピテンシーモデル」『新潟青陵大学短期大学部研究報告』、vol.37、pp.37-41.
- 就活ネットワーク[編](2007)「事務職・一般職SPI2の完全対策（2009年度版）」実務教育出版.
- 高林邦之(1991)「就職試験問題(数学)・基礎学力テストについて」『日本数学教育学会誌』、vol.73、社団法人日本数学教育学会、

pp.491.

椿ますみ(2006)「短大生のキャリア・デザインに関する支援活動～女性のライフ・バランスを支えるために～」『一宮女子短期大学紀要』、vol.45、pp.71-80.

牧下英世(1989)「就職試験問題調査：授業と関連させて」『日本数学教育学会誌』、vol.71、社団法人日本数学教育学会、pp.474.



中村 仁 (なかむら じん)

1976年12月12日

[専攻領域] 行政学・公共政策

[著書・論文] 中村仁「非営利公益団体の法人格取得と内部統治に関する一考察」『東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究』No.76, 2009年3月, pp.45-63.

中村仁「業界による能力開発－ファッション産業を例として－」『能力開発21』第30巻第3号, 中央職業能力開発協会, 2009年3月, pp.2-6.

豊田雄彦、中村仁「シラバスデータベースシステムの開発とその活用についての提案」自由が丘産能短期大学紀要第41号, 2008年6月, pp.95-104.

[所属] 大学院情報学環

[所属学会] 日本政治学会、日本行政学会、日本公共政策学会、情報社会学会など